

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年2月4日	受付番号	22
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース(スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ) トクテイエイカウトウホウジン ナガノコトモノシロイワイプロジェクト 特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) フジモリ カツキ 氏名 藤森 克之		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成14年10月7日		
団体の 設立目的	こどもや子育て中の親に対して、こども支援・子育て支援に関する事業を行い、いきいきとしたこども達の世界を守るために行政や地域社会と連携し、子育てを支えるネットワークと、その中心となる場づくりを進め、こどもの健全育成及び子育て環境の充実に寄与することを目的とする。		
団体の 活動実績	平成9年9月 ながの「こどもの城」づくりを進める会として発足 平成14年10月 NPO法人格取得 平成15年6月～18年 長野市こども広場じゃん・けん・ぼん運営受託 ～23年 長野市シニアアクティブルームの運営 平成18年4月～現在 長野市こども広場じゃんけんぼん指定管理者 家庭教育総合推進事業(文部科学省)、ごはん食推進国民活動支援事業(農林水産省)、みんなで子育て研修会(長野県元気づくり推進事業) 平成24年 スマイル増やそうプロジェクト(長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業) 平成24年11月 子ども若者育成・子育て支援功労者(内閣府特命担当大臣表彰)		
構成員(会員)数	正会員21名、一般会員16名、賛助会員2名		

<p>応募する活動のタイトル</p>	<p>子どもの声が響きあう明るいまちづくり ～ 地域で子育てのモデルづくり ～</p>
<p>応募する活動の目的及び達成目標</p>	<p>現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的 核家族化、地域社会の希薄化等が進んでいる現在、子育て環境においては母親が子育ての悩みを一人で抱え、虐待など悲しい事件も数多く起きている。 父親や高齢者等においても、共に暮らすまちの人々との触れ合いの場を持ちにくくなっている。これらは、平成24年度の「スマイル増やそうプロジェクト」事業を通じて、課題が明確になり支援の必要性を実感した。 一方、中心市街地である権堂町においては、沈滞化が課題となり、活性化に向けて様々な取り組みがされているが、まだ目に見える効果は生じていない。 そこで、マンションやアパートに住む、乳児を中心に子どもとその保護者に焦点を当て、子育て支援・子育て支援を行うことにより、地域の人々の関わりを通しての子育てのモデルを作るとともに、権堂の活性化に努める。</p> <p>応募年度の達成目標</p> <p>1 長野市権堂にある権堂まちづくりセンターの2階和室を活用し、おしゃべりスペース「絆」やスマイル広場（ミニ講座等）を開催しふれあいのまちづくりを目指す。</p> <p>2 参加者へのヒヤリングにより、乳幼児の保護者や地域住民の意向や課題を把握。</p>
<p>応募する活動の具体的内容</p>	<p>※実施項目、場所、対象者など</p> <p>1 おしゃべりスペース「絆」（週2回） 乳幼児から高齢者まで世代を超えて、誰もが気軽に集える場所をつくり、子育ての先輩から子育ての知恵を分けてもらうなど、地域で子育てのモデルを作る。 （シニア世代とのお茶のみサロン 等）</p> <p>2 スマイル広場（月2回） 子育て・子育てに関する講座を権堂の商店や企業等の方を講師に迎え開催し、地域ボランティアがかかわることの出来るシステムの構築など、「共に育つ、子育て・子育ての場」づくりを推進する。 （例：子どもの靴（ファースシューズ）の選び方・・・靴店と連携、伝統文化と子育て・・・お食い初め、地蔵盆等子育てにまつわる行事等について、商店や先輩の方々と連携 絵本の楽しみ方・・・書店、絵本セラピスト等と連携 ハンドマッサージでリラックス・・・化粧品店と連携 季節食材を生かした食事（料理講習会）・・・料理店と連携 ベビーマッサージ、初めての夏（冬）の乗り切り方、わらべうたとお話等）</p> <p>3 権堂まちづくり参加 まちづくり長野、商店街、企業と連携し、季節行事等を一緒に行う。</p>

年 間 計 画	4月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	5月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	6月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	7月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催、七夕祭り参加
	8月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	9月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催、リサイクルマーケットの開催
	10月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催、 ママによる親子写真展
	11月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	12月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催、 クリスマスマーケットへの参加
	1月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	2月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
	3月	おしゃべりスペース「絆」(週2回)、スマイル広場月2回開催
活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 ※「公益性」の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人とのふれあいにより、心豊かな子どもに育つことができる。 ・保護者の前向きな子育てにより、愛情深く育てられ、愛着関係の基礎ができる。 ・保護者 <ul style="list-style-type: none"> ・皆に支えてもらいながら子育てを行うことができ、自己肯定感をもち前向きな子育てへとつながる。 ・地域 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若い保護者の声が響きあう、元気な権堂町になるとともに、若い保護者に子育ての知恵等を伝えることにより、生活にハリが出て意欲的に生活できる。 ・地域の関わりの中で子育てをするモデルができ、権堂の活性化に貢献できる。 	
活動を継続するための取り組み(資金面、人材等) ※「自立性」の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 資金 <ul style="list-style-type: none"> ・3年計画で、自主経費で運営できるよう、会員制の導入を検討する。 ・地域、企業などからの施設提供や寄附を働きかけていく。 2 人材 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアが精力的に関わることの出来るシステムの構築など、「共に育つ、子育て・子育ての場」づくりを推進する。 	
翌年度以降の活動内容の概要	翌年度	<ul style="list-style-type: none"> ・権堂に人々が集まるよう、マンション等で暮らす核家族を対象に、商店街の方々と連携し、おしゃべりスペース「絆」やスマイル広場を定期的に開催すると共に、地域の行事・イベントを協働で行う機会を多くする。
	翌々年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を自主運営できるようにする。
事業の最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの笑顔を真ん中に世代を超えて、誰もが気軽に集える場所をつくり、気軽に声をかけ、心の通い合うまちづくりをし、権堂の活性化とともに、「地域で子育て」のモデルを作る。 	

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金・賃金	142,100	
旅費交通費	12,000	
消耗品費	59,285	
印刷製本費	2,880	
広告宣伝費		
通信運搬費	36,000	
使用料・損料	336,000	
備品購入費		
合 計	A 588,265円	

自己資金

名 目	金 額	
会費	3,065	
寄附金・協賛金		
参加者負担金	115,200	
事業収益金		
合 計	B 118,265円	

補 助 金 要 望 額 (C)	C=A-B
※補助割合・限度額 【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし10万円以内 【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8の金額以下、ただし50万円以内 (ホップ) A×0.8の金額以下、ただし100万円以内 (ステップ) A×0.6の金額以下、ただし60万円以内 (ジャンプ) A×0.4の金額以下、ただし40万円以内	470,000円 (千円未満切り捨て)